

2024年度 社会福祉法人本巢市社会福祉協議会事業報告

[基 本 理 念]

ふれあい、つながり、支え合う 安心とやさしさに包まれたまち もとす

[事業報告の総評]

地域における福祉課題の解決に向けた取り組みや生活困窮者への相談支援等について、地域包括支援センターとともに、連携体制の強化を図り、これにより重層的支援体制整備事業をはじめ、包括的支援体制整備の推進に向けて地域の現状や課題の把握や市との情報共有などを行い、課題の解決に向けての組織づくりを進めることができました。

また、地域住民や各種の関係団体などの連携や地域住民によるボランティア活動を活性化させるため、くらしつなぎあい事業や地域のネットワークづくり事業を通じて市民が協働して活躍できるよう支援を行い、ボランティアが安心して活躍できる環境を整備しました。

[重点計画取り組みの成果]

1 福祉啓発事業

孤立しがちな状況にある人への理解、支えるために地域で何ができるのかを考える講演会を開催しました。市民164名の参加があり、一人暮らしでも、在宅で看取りが可能なことや疎遠になっていた家族が人生会議（ACP）を通じて再びつながりあえることなど考えるきっかけづくりができました。

2 地域とつながる地域座談会

自治会やふれあいサロン、老人クラブ等の会合時地域に出向き、地域の現状や福祉サービスの紹介、社協のPRを16回行いました。市民との対話の中で、社協の存在を知らない人が多いことや生活の悩みごとや介護が必要になった時、どこに相談にいけばよいのかがわからないとの声も多くありましたが、周知することができました。

3 ボランティア活動と市民協働の推進

地域住民によるボランティアの活性化を図るため、福祉協力校の福祉体験学習やくらしつなぎあい事業など地域の活動時に、多くのボランティアへの声掛けをしました。また、災害時にも強いまちづくりを目指し、市と連携して年2回「災害・減災研修会」を開催し、災害ボランティアの意識を高めるように努めました。

4 公的サービスの提供や相談支援体制の充実

利用者の状況や家族の意思に配慮したケアプランの作成やホームヘルパーなどの介護サービスの提供を行いました。また、地域包括支援センターと生活困窮者への対応窓口を一元化し、介護相談や生活相談に対し、早期解決に向けて相談支援体制を充実させることができました。

5 重層的支援体制整備事業（新規事業）

令和8年度からの重層的支援体制構築のための準備期間として、市の関係者と各部署の現状把握と課題について確認し、事業内容の確認や庁内連携強化に取り組みました。

【一 般 福 祉 事 業】

事業名	1 法人運営事業
事業内容及び成果	(1) 組織体制の充実 ①安定的な法人運営のために理事会・評議員会等を開催しました。 ・理事会の開催（年４回） ・評議員会の開催（年３回） ・評議員選任・解任委員会の開催（年１回） ②監事による事業監査及び会計監査を行いました。 ・監査会の開催（年２回） ③社協内部会議を開催しました。 ・事務連絡調整会議（毎月１回） ・各担当者会議（随時） (2) 財政基盤の強化 ①一般会費及び賛助会費の加入促進と寄附金の募集を行いました。 ・一般会費 ８，９２１世帯（２８３世帯減） 真正３，６８４世帯（９５世帯減） 糸貫２７９８世帯（７１世帯減） 本巣１，９５３世帯（１１５世帯減） 根尾 ４８６世帯（ ２世帯減） ・賛助会費 １１７社（６社減） 真正３９社（増減なし） 糸貫４４社（２社増） 本巣１９社（１社減） 根尾 ９社（２社減） 市外 ６社（５社減） ②広報なごみにて広告掲載をし、広告掲載料の増に努めました。 広告掲載登録 ２社 ③寄附金、寄附物品 寄附金 個人１名及び５団体 寄附総額３５８，６４２円 寄附物品 タオル、玄米、非常食、飲料、洗剤等 個人：延べ９件 団体：延べ７件 (3) 情報提供 ①広報なごみを発行（年４回）しました。 ②ホームページやフェイスブックを公開し、リアルタイムな情報提供を行いました。
事業名	2 地域福祉推進事業
事業内容及び成果	(1) 福祉車輛貸出事業 一般の交通機関を利用すること等外出することが困難な市民に対し、福祉車輛の貸し出しを行いました。 普通車１台 軽自動車３台 年間延べ１８８件利用 (2) 福祉用具貸出事業 電動ベッドや車椅子等の福祉用具の貸し出しを行いました。 貸出用具・・・電動ベッド（継続利用者）７件 車椅子６０件 歩行器２件 (3) 高額療養費貸付事業 入院又は通院による高額療養費の貸付を行いました。 貸付 １件

(4) ボランティアセンター事業

①高齢者や障がい者を対象に、日常生活上のちょっとした困りごとを支援するくらしつなぎあい事業を実施しました。年1回情報交換会を実施し、情報の共有を行いました。また、広報活動及びボランティアへの声掛けを行いました。

新規	26件
実利用者	15名
実働サポーター	11名
事業実施	延べ234件

②ボランティア登録や団体への支援を行いました。

③ボランティア活動の情報提供を行いました。

(5) ボランティアスクール

手話・点字・施設体験（市内事業所5施設）を行いました。

小学生14名、中学生10名 計24名参加

(6) 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

低所得者や高齢者、障がい者の生活を経済的に支えることを目的に、生活福祉資金貸付の相談対応を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症の発生による休業や失業により、一時的又は継続的に収入が減少した世帯を対象とした生活福祉資金貸付制度の特例貸付について、償還が困難な借受人に対し、県社協と連携しながら償還免除の申請手続きを支援しました。

通常貸付 0件 償還免除申請 10件

(7) 日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

高齢や障がいなどで金銭管理や各種手続き等日常生活に不安を感じる人に対し、生活支援員が金銭管理や文書確認、届出事務の代行等行いました。

①利用者・・・真正2名 糸貫2名 本巢5名

②生活支援員・・・5名

③相談及び訪問件数・・・年間延べ75件

(8) 生活困窮者小口資金貸付事業

ライフラインの復旧や就労支援の際の費用を一時的に貸付する支援は、実績はありませんでした。

(9) 食料支援事業(フードバンク)

広報なごみやチラシを通じて食料提供依頼を行い、年間を通じて市民や企業から食料の提供を受けました。また、新たに市と連携し、市役所本庁舎にフードポストを設置しました。提供された食品を生活困窮で食料支援を必要としている人に、必要な分渡せる仕組みの要綱を作成しました。また、子ども支援としてお菓子などは、生活困窮世帯や地域の子ども食堂へ届けました。

市民7名より玄米360kg、市民2名、企業3社、幼稚園1園より食料支援がありました。

生活困窮者 17名（延35回）に対して食料支援しました。

(10) 地域のネットワークづくり事業

市内の福祉事業所・企業・ボランティア団体と繋がりを持ち、地域の現状、課題を伝え、それぞれの立場で「地域のチカラ」となって、地域貢献及び地域

を支えていくネットワークづくりを行いました。

参加施設・企業等3施設

(1 1) 地域座談会

自治会やふれあいサロン、老人クラブ等の会合時地域に出向き、地域の現状や福祉サービスの紹介、社協のPRを16回行いました。困りごとや介護が必要になった時にどこへ相談に行けば良いのかなど、情報提供や周知をすることができました。

(1 2) みんなでつながるSDGs

社協職員が外部講師を依頼し、SDGsを学びました。カードゲームを利用し、今の社協に足りない部分や、問題解決にむけての取組方法のきっかけを学ぶことができました。

(1 3) 災害・減災研修会及び災害派遣

市と連携し、災害についての心構え、災害ボランティア等について研修会を実施しました。能登半島地震では、石川県珠洲市社会福祉協議会に対し、当会職員を3名、延べ3週間派遣しました。

月 日	内 容	参加人数
6月22日	災害時でも助け合える人・まちづくり	132名
2月22日	能登半島地震、奥能登豪雨の支援の取組について	111名

事業名 3 共同募金配分事業

事業内容及び成果 (1) ふれあいいきいきサロン事業

円滑な事業運営を支援するため助成を行いました。また、職員がサロンに出向きレクリエーションや生活状況確認等を行いながら、高齢者等の生きがいをづくりを支援しました。

サロン数	44
年間延べ回数	371回
参加延べ人数	5,596名

区 分	サロン数
真 正	18
糸 貫	16
本 巣	7
根 尾	3

(2) 広域サロンの開催

誰でも参加できるいきいきサロンを、2025年度から実施できるよう、各自治会と調整をしました。

(3) 高齢者ぬくもり訪問事業

75歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、日用品等を持って民生委員やボランティアが見守り訪問を行いました。

年5回 延べ2,076名を訪問

真 正	602名
糸 貫	599名
本 巣	516名
根 尾	359名
合 計	2,076名

(4) 買い物支援事業

高齢者等で自動車等の運転ができないなど買い物の移動に不便を感じている市民に対し、買い物支援サービスを実施しました。また、運営ボランティア・運転手が集まり、情報交換を行いました。

	自治会名	年間回数	延べ利用人数
1	高 砂 町	2 4 回	1 0 9 名
2	神 明	2 4 回	5 7 名
3	宝 珠 ハ イ ツ	2 4 回	1 6 1 名
4	仏 生 寺	1 5 回	2 5 名
5	根尾中・越卒	1 0 回	3 3 名
6	木 知 原	9 回	3 4 名
7	北 野 ・ 春 近	1 0 回	1 2 名
	合 計	1 1 6 回	4 3 1 名

(5) 男性のいきいきライフ事業

60歳以上の男性を対象に、各種教室を開催しました。

内 容	参加人数
口腔ケア	6 名
終活セミナー	5 名
ノルディックウォーク	4 名
珈琲セミナー	5 名

(6) クリスマス会の開催

障がい者就労支援センター利用者の保護者や運営協力者が一堂に会し、仕事で頑張ったことや日頃の感謝の気持ちを伝え、一年を振り返りながら利用者同士の仲間意識の向上と交流を図ることを目的に3施設合同にてクリスマス会を開催しました。

12月20日 糸貫ぬくもりの里

利用者29名、保護者19名、運営協力者7名 計55名参加

(7) 福祉協力校への助成

①市内の幼児園8園、小学校7校、中学校3校、学園1校を福祉協力校に指定し、福祉に関する事業や授業に対し助成を行いました。

②福祉体験教育として、小学校（2校）での体験活動に協力しました。

(8) 共同募金運動

助け合いの精神と福祉への参加を呼びかけ、赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金運動を行いました。

①募金運動期間：10月1日から12月31日

②戸別募金：10月1日から戸別募金を実施しました。

赤い羽根募金 9, 205世帯 歳末助け合い募金 9, 125世帯

③法人募金：法人企業を対象に、募金運動実施 104社

④街頭募金：もっとまるっともとす祭りにて街頭募金を実施しました。

11月10日実施 募金額 73, 128円

中学生21名がボランティアとして参加しました。

⑤職域募金：市内個人商店や公共施設等に17か所募金箱を設置しました。

(9) ふくしふれあい事業

バジマシン機器を購入し、市主催のイベントや街頭募金時に、地域住民にボランティア活動の意識付け、啓発活動、福祉について情報提供、事業PRを行

	いました。 (10) 広報誌事業 福祉情報をわかりやすく、見やすい冊子を包括支援センターと共同で作成をしました。 (11) 福祉啓発事業 市民を対象に孤立しがちな状況にある人を見守る地域づくりのきっかけとして講演会を開催しました。 演題：「最期まで家で笑って生きたいあなたへ なんとめでたいご臨終」 講師：小笠原文雄 氏 164名参加
事業名	4 本巣市在宅福祉事業
事業内容及び成果	(1) ミニデイサービス事業 真正老人福祉センター及び本巣老人福祉センターの入浴施設を、市内在住の60歳以上の人を対象に無料で開放し、市民の憩いの場として提供しました。 ①真正老人福祉センター：毎週月曜日・木曜日 実施日数：103日 利用者数：延べ1,931名利用 (1日平均18.7名利用) ②本巣老人福祉センター：毎週火曜日・金曜日 実施日数：101日 利用者数：延べ522名利用 (1日平均5.1名利用) (2) 障害者社会参加促進事業 市内障がい者就労支援センターB型事業所の利用者が一堂に会する場所として、ふれあい交流運動会を開催し、各競技を通じて相互の親睦と交流を図りました。 開催日：10月25日 場所：真正体育センター 参加事業所数：5事業所 参加者：67名
事業名	5 生活困窮者自立支援事業
事業内容及び成果	生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を行いました。家計改善支援事業として、生活費の状況を適切に把握し、家計の改善等支援を行いました。また、LINEを活用し、相談者が気軽に相談できるよう努めました。 相談件数・・・延べ1,031件 相談実人数・・・新規45名、継続70名
事業名	6 介護予防・日常生活支援総合事業
事業内容及び成果	市内の65歳以上の高齢者を対象に、要介護状態にならないようにするため、転倒予防教室やキラリ元気アップ教室を開催し、口腔ケア、音楽療法、認知症予防、閉じこもり予防など介護予防に取り組みました。 (1) 一般介護予防事業 市内在住の65歳以上の高齢者を対象に、介護予防サポーター養成講座を修了したサポーターズクラブから協力を得て、各地域において転倒予防教室を開催しました。

※転倒予防教室

(延べ人数)

区 分	2024年度	2023年度
真 正	539	584
糸 貫	418	372
本 巢	291	188
根 尾	167	136
合 計	1,415	1,280

(2) 介護予防・生活支援サービス事業

65歳以上で基本チェックリストに該当した事業対象者又は、要支援1、2の認定者で介護保険の通所サービスを利用していない市民を対象に、4地域でそれぞれ週1回介護予防教室を開催しました。

※キラリ元気アップ教室

(延べ人数)

区 分	2024年度	2023年度
真 正	1,206	1,169
糸 貫	538	440
本 巢	435	572
根 尾	194	203
合 計	2,373	2,384

事業名 7 ふれあいホーム事業

障がい者の自立生活を支援するため、ふれあいホーム（賃貸住宅）において、世話人支援のもと、一緒にアパートで宿泊し日常生活及び共同生活訓練を行いました。

年間59回実施 延べ107名利用
利用登録者内訳（男性13名・女性4名）

事業名 8 個別避難計画作成事業

(1) 市が個別避難計画の作成同意を得た人を対象に、職員が個別訪問し、緊急時の連絡先や避難時にどのような配慮が必要かなどを聞き取り、個別避難計画を作成しました。

※計画作成数

真正	糸貫	本巢	根尾	合計
39名	31名	30名	16名	116名

(2) 個別避難計画に合わせて、市内の75歳以上のひとり暮らしの高齢者を定期的に見守り訪問しました。

※活動実績

区 分		真正	糸貫	本巢	根尾	合計
見守り 訪問	実人数	15	22	18	15	70
	延人数	51	94	100	73	318
相談件数		5	5	12	7	29
実態把握		32	37	37	13	119

事業名	9 生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター事業）						
事業内容及び成果	(1) 第2層協議体						
	真正・糸貫・本巣・根尾の4地域において、地域住民が集まり、地域の情報交換や地域づくりに向けた話し合いを毎月1回開催しました。						
	区 分		開催回数		参加人数		
	真 正		1 1 回		1 0 4 名		
	糸 貫		1 1 回		9 9 名		
	本 巣		1 1 回		8 0 名		
	根 尾		1 1 回		8 0 名		
	全体会		1 回		2 9 名		
	1 2 月は、各地域の協議体メンバーが会場に集まり、全体会を開催しました。						
	(2) 介護予防サポーター養成講座の運営協力と参加者のネットワークづくり						
区 分			参加者（延べ人数）				
介護予防サポーター養成講座			1 0 名				
サポーターズクラブ			4 1 名（2 1 4 名）				
(3) 集いの場等の代表者交流会							
地域で活動している集いの場や認知症カフェの代表者が、各活動の取組みについて情報交換しました。							
2月27日（木）開催 8事業所 12名参加							
事業名	1 0 認知症総合支援事業						
事業内容及び成果	(1) 認知症初期集中支援推進事業						
	認知症になっても本人の意思が尊重され、出来る限り住み慣れた地域で暮らし続けられるように、早期診断・早期対応に向けた相談支援を行いました。						
	※地域包括支援センター相談状況 (延べ件数)						
	相談内容/相談形態	電話	来所	訪問	その他	合計	
	認知症に対する相談	7 2	5 8	1 4	5	1 4 9	
	内、チーム員相談対応	2 0	6	5	0	3 1	
	(2) 認知症地域支援・ケア向上事業						
	①認知症サポーター養成講座						
	区 分		2 0 2 4 年度		2 0 2 3 年度		
	開催回数（回）		1 3 回		9 回		
参加人数（人）		4 3 3 名		3 2 9 名			
市内小学校、義務教育学校及び介護予防サポーター養成講座の参加者、市職員、市民など、幅広い世代を対象に認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の理解を深めることができました。							
②認知症カフェ							
区 分		名称		回数		参加延べ人数	
糸 貫		わいわいカフェ		1 2 回		1 8 2 名	
		ぐるぐるカフェ		1 0 回		1 3 6 名	
本 巣		ささゆりカフェ		5 回		8 8 名	
根 尾		おきがるカフェ		4 回		7 7 名	

	③家族介護教室 認知症家族の会をゲストに招いて座談会を行い１８名の参加がありました。参加者同士が相談し合ったり共感することで、参加者の精神的負担軽減に繋がりました。 ④オレンジリング啓発事業 福祉協力校の小学校３校、中学校１校から参加がありました。 土貴野小６年…パワーポイントを使用し、認知症の理解を広げる内容をプレゼンテーションしました。その様子をＣＣネットで放映しました。 本巣小５年…認知症を知ってもらえるようポスターを作成し、生徒が朝礼時に全学年の教室を回って説明しました。 弾正小６年…「オレンジの輪をロバで作ろう」と題しオレンジの折り紙で折ったロバを繋ぎ、オレンジリングの輪を作成しました。 本巣中学校…ポスターや標語を夏休みの自由課題として作成しました。																					
事業名	１１ 重層的支援体制整備事業（新規）																					
事業内容及び成果	子ども・障がい・高齢・生活困窮といった分野別の支援体制では対応困難な、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制の構築準備に市と共同で取り組みました。 <table><tr><th colspan="2">区 分</th><th>２０２４年度</th></tr><tr><td colspan="2">相談件数（実対応人数）</td><td>８３件（３人）</td></tr><tr><td rowspan="4">内 訳</td><td>電 話</td><td>５６件</td></tr><tr><td>訪 問</td><td>１０件</td></tr><tr><td>来 所</td><td>１０件</td></tr><tr><td>メール等</td><td>７件</td></tr><tr><td colspan="2">ケース検討会議</td><td>１１回</td></tr><tr><td colspan="2">庁内連携会議・勉強会</td><td>４回</td></tr></table>	区 分		２０２４年度	相談件数（実対応人数）		８３件（３人）	内 訳	電 話	５６件	訪 問	１０件	来 所	１０件	メール等	７件	ケース検討会議		１１回	庁内連携会議・勉強会		４回
区 分		２０２４年度																				
相談件数（実対応人数）		８３件（３人）																				
内 訳	電 話	５６件																				
	訪 問	１０件																				
	来 所	１０件																				
	メール等	７件																				
ケース検討会議		１１回																				
庁内連携会議・勉強会		４回																				

【公 的 福 祉 事 業】

事業名	1 介護保険事業																											
事業内容及び成果	(1) 訪問介護事業																											
	在宅の要介護認定者に対してホームヘルパーを派遣し、入浴・排泄・食事の介護や調理・洗濯・掃除等の生活援助を行いました。また健康確認や介護方法など生活に関する相談と助言を行いました。																											
	要介護者への訪問回数が減り、要支援者への訪問が増えました。																											
	<table><tr><td colspan="2">区 分</td><td>2024年度</td><td>2023年度</td></tr><tr><td rowspan="2">利用者延べ人数</td><td>介護保険要介護者</td><td>306名</td><td>345名</td></tr><tr><td>介護保険要支援者</td><td>102名</td><td>82名</td></tr><tr><td rowspan="2">利用延べ回数</td><td>介護保険要介護者</td><td>3,972回</td><td>4,302回</td></tr><tr><td>介護保険要支援者</td><td>570回</td><td>419回</td></tr><tr><td rowspan="2">月平均利用者数</td><td>介護保険要介護者</td><td>26名</td><td>29名</td></tr><tr><td>介護保険要支援者</td><td>9名</td><td>7名</td></tr></table>			区 分		2024年度	2023年度	利用者延べ人数	介護保険要介護者	306名	345名	介護保険要支援者	102名	82名	利用延べ回数	介護保険要介護者	3,972回	4,302回	介護保険要支援者	570回	419回	月平均利用者数	介護保険要介護者	26名	29名	介護保険要支援者	9名	7名
	区 分		2024年度	2023年度																								
	利用者延べ人数	介護保険要介護者	306名	345名																								
		介護保険要支援者	102名	82名																								
	利用延べ回数	介護保険要介護者	3,972回	4,302回																								
		介護保険要支援者	570回	419回																								
	月平均利用者数	介護保険要介護者	26名	29名																								
介護保険要支援者		9名	7名																									
(2) 本巣市居宅介護支援センター																												
①居宅サービス計画（ケアプラン）の作成																												
介護保険の要介護認定者及びその家族の依頼を受けて、介護支援専門員が自宅を訪問し、心身の状況、生活環境等を勘案し、自立した日常生活を営むために必要なサービスが適切に利用できるよう居宅サービス計画の作成を行いました。																												
②介護予防プランの作成																												
要支援認定者に対して、地域包括支援センターからの委託を受け介護予防プランの作成を行いました。																												
契約者に対しては、家族が就業していることも多く、働く家族からの相談に対応するため、24時間365日体制で在宅生活をサポートしました。																												
特定事業所加算を取得している事業所として、地域包括支援センター及び医療機関からの受け入れも積極的に行いました。																												
契約者以外からの介護や介護保険制度等の相談にも柔軟に対応しました。																												
<table><tr><td>区 分</td><td>2024年度</td><td>2023年度</td></tr><tr><td>ケアプラン延件数</td><td>1,776件</td><td>1,864件</td></tr><tr><td>予防プラン延件数</td><td>191件</td><td>239件</td></tr><tr><td>相談件数</td><td>72件</td><td>52件</td></tr><tr><td>新規契約件数</td><td>73件</td><td>58件</td></tr><tr><td>24時間対応件数</td><td>454件</td><td>287件</td></tr></table>			区 分	2024年度	2023年度	ケアプラン延件数	1,776件	1,864件	予防プラン延件数	191件	239件	相談件数	72件	52件	新規契約件数	73件	58件	24時間対応件数	454件	287件								
区 分	2024年度	2023年度																										
ケアプラン延件数	1,776件	1,864件																										
予防プラン延件数	191件	239件																										
相談件数	72件	52件																										
新規契約件数	73件	58件																										
24時間対応件数	454件	287件																										
事業名	2 地域包括支援センター事業																											
事業内容及び成果	(1) 介護予防ケアマネジメント事業																											
	※介護予防ケアマネジメントBの作成件数（延べ件数）																											
	<table><tr><td>区 分</td><td>2024年度</td><td>2023年度</td></tr><tr><td>ケアマネジメントB</td><td>734件</td><td>780件</td></tr></table>			区 分	2024年度	2023年度	ケアマネジメントB	734件	780件																			
区 分	2024年度	2023年度																										
ケアマネジメントB	734件	780件																										

基本チェックリストに該当した事業対象者に、維持向上を目的に介護予防サービス、支援計画書を作成しました。

※出前講座

区 分	開催回数	延参加人数	介護予防	認知症	消費者被害	包括について	その他
サロン	2	3 7	0	0	1	1	0
老人クラブ	3	9 6	2	0	1	1	0
民生委員	4	7 4	3	2	0	4	4
その他	6	6 6	1	1	1	4	3
合 計	1 5	2 7 3	6	3	3	1 0	7

地域のサロンや一般介護予防教室等の地域に出向き、包括支援センターの周知や介護予防等の啓発活動に努めました。

(2) 総合相談支援事業

※総合相談延件数

(単位：件)

区 分	本人	家族等	関係機関	地域団体等	不明	計
電 話	1 6 6	5 5 1	3 5 3	3 9	4	1 1 1 3
来 所	6 7	3 5 0	5 9	1 5	1	4 9 2
訪 問	1 7 6	1 2 4	9	2	0	3 1 1
その他	2	6	2	2	0	1 2
合 計	4 1 1	1 0 3 1	4 2 3	5 8	5	1 9 2 8

※相談内容別件数

(単位：件)

区 分	2 0 2 4年度	2 0 2 3年度
介護保険制度に関する相談	1, 9 0 1	1, 8 2 7
総合事業に関する相談	7 1	4 9
福祉制度・サービスに関する相談	1 4 1	1 3 1
医療・健康等に関する相談	7 5	8 4
認知症に関する相談	1 4 9	1 1 9
安否確認に関する相談	2 2	2 8
権利擁護に関する相談	6 4	5 9
介護方法等に関する相談	8	1 2
生活全般に関する相談	4 1 9	3 8 4
介護者の離職に関する相談	0	0
ヤングケアラーに関する相談	2	0
苦情相談	5	3
その他	1 1	1 7
合 計	2, 8 6 8	2, 7 1 3

※対応内容別件数

(単位：件)

区 分	2 0 2 4年度	2 0 2 3年度
情報提供	2 0 5 0	1, 9 0 0
連絡・調整	7 2 8	7 6 7
家庭訪問	3 1 5	2 6 3

ケース検討	1 3	1 1
申請（代行）	1 6 0	1 8 4
基本チェックリストの実施	1 4	1 3
その他	4	0
合 計	3, 2 8 4	3, 1 3 8

①根尾地域の市民が相談しやすい体制として、根尾庁舎に週 2 回、出張相談を行いました。根尾地域の年間相談件数 1 1 0 件のうち、窓口対応は 5 件でした。

②地域の福祉サービス情報をまとめた「あったか便利帳」を作成し、市内の福祉相談窓口、民生委員・児童委員、市内の居宅介護支援事業所、ひとり暮らし高齢者や支援を必要としている人等を対象に配布しました。

（3）権利擁護事業

区 分	相談件数（実人数）
高齢者虐待	2 1 件（1 1 名）
消費者被害	5 件（ 5 名）
成年後見制度	3 8 件（2 6 名）

①高齢者虐待

認知症の人への暴言・暴力などを行うケースが半数近くを占めました。また家族が介護疲れや経済面で余裕がないケースもあり、関係者と連携して対応しました。

②消費者被害

押し買い詐欺や住宅の改修工事に関する被害の相談がありました。

③成年後見制度

認知症や障がいのある人や家族へ制度紹介をする機会が多くありました。制度を事前にインターネット等で概要を確認してから相談する家族も増えています。

（4）包括的・継続的ケアマネジメント事業

①地域の介護支援専門員への個別支援

（単位：件）

区 分	2 0 2 4 年度	2 0 2 3 年度
ケアマネに対する日常的な指導助言	1 2 3	9 4
同行訪問	1	4
サービス担当者会議の開催支援	0	2
支援困難事例等への指導・助言	1 7	3 1
合 計	1 4 1	1 3 1

地域の介護支援専門員からの相談として、困難事例や高齢者虐待に関する相談が多くみられ、同行訪問や地域ケア会議に繋げました。

②市内の介護支援専門員勉強会

区 分	内 容	参加人数
5 月 9 日	「令和 6 年度介護保険報酬改定について」 講師：もとす広域連合介護保険課	2 8 名
8 月 2 2 日	「介護予防プランの作成について」 講師：笠松町地域包括支援センター	2 5 名

	<table><tr><td>1月20日</td><td>「精神疾患のある方への対応について」 講師：はやかわ訪問看護ステーション</td><td>21名</td></tr></table>	1月20日	「精神疾患のある方への対応について」 講師：はやかわ訪問看護ステーション	21名																										
1月20日	「精神疾患のある方への対応について」 講師：はやかわ訪問看護ステーション	21名																												
	③地域ケア会議 <table><tr><td>区 分</td><td>開催回数</td><td>事例件数</td><td>参加延べ人数</td></tr><tr><td>自立支援</td><td>10</td><td>10</td><td>145</td></tr><tr><td>困難ケース</td><td>6</td><td>6</td><td>42</td></tr><tr><td>集中減産</td><td>3</td><td>19</td><td>15</td></tr><tr><td>合 計</td><td>19</td><td>35</td><td>202</td></tr></table> 自立支援に向けたケースでは、市内を南部（真正、糸貫）北部（本巣、根尾）に分け、月1回開催しました。 困難ケースは随時開催し、タイムリーな支援をすることができました。 (5) 指定介護予防支援事業 要支援認定者に対し、介護予防計画を作成しました。 ※介護予防サービス計画作成件数 <table><tr><td>区 分</td><td>2024年度</td><td>2023年度</td></tr><tr><td>予防給付</td><td>2,788</td><td>2,602</td></tr><tr><td>予防マネジメントA</td><td>586</td><td>459</td></tr></table> ※予防給付・・・要支援1，2の人でデイケア、訪問看護、福祉用具等利用 ※マネジメントA・・・要支援1，2の人で訪問介護、通所介護のみ利用	区 分	開催回数	事例件数	参加延べ人数	自立支援	10	10	145	困難ケース	6	6	42	集中減産	3	19	15	合 計	19	35	202	区 分	2024年度	2023年度	予防給付	2,788	2,602	予防マネジメントA	586	459
区 分	開催回数	事例件数	参加延べ人数																											
自立支援	10	10	145																											
困難ケース	6	6	42																											
集中減産	3	19	15																											
合 計	19	35	202																											
区 分	2024年度	2023年度																												
予防給付	2,788	2,602																												
予防マネジメントA	586	459																												
事業名	3 障がい福祉事業																													
事業内容及び成果	(1) 障がい者就労継続支援事業（B型） 自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練を行いました。 <利用者数> <table><tr><td>区 分</td><td>当初利用者数（4月）</td><td>年度末利用者数（3月）</td></tr><tr><td>み つ ば</td><td>10名</td><td>10名</td></tr><tr><td>杉 の 子</td><td>11名</td><td>10名</td></tr><tr><td>ほ た る</td><td>12名</td><td>11名</td></tr></table> <利用者1人当たり平均工賃（月額）> <table><tr><td>区 分</td><td>2024年度</td><td>2023年度</td></tr><tr><td>み つ ば</td><td>14,593円</td><td>14,923円</td></tr><tr><td>杉 の 子</td><td>16,377円</td><td>14,841円</td></tr><tr><td>ほ た る</td><td>16,806円</td><td>16,477円</td></tr><tr><td>3施設平均</td><td>15,925円</td><td>15,413円</td></tr></table> 2024年度は、各企業からの請負作業が減少傾向でしたが、自主製品（お菓子・布製品）の製造及び販売等各種イベントへ積極的に参加し取り組んだことにより利用者工賃の増額を図ることができました。 (2) 障がい者相談支援事業（障がい福祉サービス等の利用計画作成） サービス等の利用計画についての相談及び作成などの支援を行い、障がい者の自立した生活を支え、障がい者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に応じて保護者・事業所等の協力を得ながら支援しました。	区 分	当初利用者数（4月）	年度末利用者数（3月）	み つ ば	10名	10名	杉 の 子	11名	10名	ほ た る	12名	11名	区 分	2024年度	2023年度	み つ ば	14,593円	14,923円	杉 の 子	16,377円	14,841円	ほ た る	16,806円	16,477円	3施設平均	15,925円	15,413円		
区 分	当初利用者数（4月）	年度末利用者数（3月）																												
み つ ば	10名	10名																												
杉 の 子	11名	10名																												
ほ た る	12名	11名																												
区 分	2024年度	2023年度																												
み つ ば	14,593円	14,923円																												
杉 の 子	16,377円	14,841円																												
ほ た る	16,806円	16,477円																												
3施設平均	15,925円	15,413円																												

計画相談作成 利用者４２名 延べ計画作成９４件
(３) 障害者居宅介護給付事業(障がい者ホームヘルプサービス)

障がい者が居宅において日常生活を営むことができるよう、家庭にホームヘルパーが訪問し、調理、身体の清潔保持などの介助や必要な支援を行いました。施設入所に伴うサービス中止により、利用回数が減っています。

区 分		２０２４年度	２０２３年度
利用者延べ人数	地域生活支援事業	１２名	１２名
	障害者総合支援事業	３３名	５２名
利用延べ回数	地域生活支援事業	５８回	５６回
	障害者総合支援事業	１１９回	３９２回
月平均利用者数	地域生活支援事業	１名	１名
	障害者総合支援事業	３名	４名

【指 定 管 理 事 業】

事業名	1 指定管理業務
事業内容及び成果	(1) 老人福祉センターの管理運営（真正、本巣老人福祉センター） 老人の健康増進及び文化活動のための場を提供しました。 ①真正老人福祉センター 月曜日から金曜日開館（祝日を除く） ・施設開館は243日（土日曜日及び祝日、年末年始を除く毎日） ・施設利用者数 延べ223名 ・施設修繕・・浴室排煙装置修繕、ガス給湯器交換等を行いました。 ・年2回の避難訓練、消防訓練等を行い、火災等発生した場合の利用者の誘導方法等確認しました。 ②本巣老人福祉センター 月曜日から金曜日開館（祝日を除く） ・施設開館は243日（土日曜日及び祝日、年末年始を除く毎日） ・施設利用者数 延べ3,094名 ・施設修繕・・消防設備誘導修繕、漏水調査及び修繕、給湯ボイラー修繕を行いました。 ・年2回の避難訓練、消防訓練等を行い、火災等発生した場合の利用者の誘導方法等確認しました。 (2) 糸貫ぬくもりの里の管理運営 市民の健康づくりと高齢者に対する在宅福祉の充実を図るとともに、市民の地域福祉活動及び文化活動を振興し、研修室やホールの貸し出しを行いました。 年2回の避難訓練、消防訓練等を行い、火災等発生した場合の利用者の誘導方法等確認しました。 ・施設開館は266日（いきいきセンターは、月曜日及び年末年始を除く毎日、保健センターは、土日祝日、年末年始を除く毎日） ・施設利用者数 延べ 27,145名 ・施設修繕・・消防設備誘導灯修繕、自動ドア修繕、空調設備修繕、浄化槽設備修繕、洗面自動水栓修繕等行いました。 (3) 障がい者就労支援センター（みつば、杉の子）の管理 障がい者就労支援センターが円滑に運営できるよう施設整備の管理を行いました。 ・年2回の避難訓練を行い、利用者や職員が安全に避難できるよう訓練を行いました。 ・みつば施設修繕・・施設南西護岸崩れの修繕を行いました。（県対応） ・杉の子施設修繕・・修繕事項なし